

第4回湯沢市地方創生推進会議 報告書

- 1 日 時 平成27年11月17日(火) 14:00~15:45
- 2 会 場 湯沢市役所本庁舎4階 41会議室
- 3 出席委員 全委員出席(代理出席3名)
- 4 案 件 ①湯沢市人口ビジョン案について
②湯沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略案について

■委員から出された主な意見等と湯沢市からの回答

委員	戦略1のチャレンジパッケージ1の重要業績評価指標(KPI)には在宅ワーカー数を設定しているが、所得向上に関連した指標を設定できないか。
市	育成するワーカーは人数に限られており、個人の所得公表につながる可能性があるため、KPIはワーカー数に留めることにした。所得状況については基本目標として、市民全体の平均所得向上を盛り込んでいる。

委員	戦略1のチャレンジパッケージ2のKPIには海外展開に取り組む企業・団体数を設定しているが、海外への出荷額や取引額を設定できないか。
市	KPIの設定については、県のKPIを参考に、市で把握できる情報から設定した。

委員	戦略3の数値目標には合計特殊出生率が設定されている一方で、チャレンジパッケージにおけるKPIのうち、出生に関するのは第3子以降の割合のみとなっているが、第3子以降の割合を上げることで合計特殊出生率にどのくらい影響する見込みか。
市	各戦略の数値目標を達成するためにチャレンジパッケージを設けてKPIを設定しており、戦略3に設けている3つのチャレンジパッケージを一体的に取り組むことで、合計特殊出生率の上昇につながるものと考えている。

委員	市内在住者もゆざわ版CCRCの対象になるか。
市	郊外からまちなかに移り住むケース等もCCRCの対象となり、市民がCCRCの対象となる施設に入居することも想定している。

委員	定住の観点から、住んでいる人の暮らしやすさが大切と思う。戦略には雪対策が含まれていないようだが、対策はあるか。
市	雪対策については、戦略やチャレンジパッケージのキーワードとしていないが、地域共助による雪対策事業の拡充や転入者への雪対策に関する情報提供等を予定している。

委員	戦略4のチャレンジパッケージ1では、ジオツーリズムのほか、歴史文化の活用も想定しているか。
市	戦略4のチャレンジパッケージ1では、市の特徴の一つであるジオパークに関するKPIを設定しているが、歴史文化を活用した事業も予定している。

委員	子育て支援に関する情報提供が重要と思うが、関連する取り組みは予定しているか。
市	ライフイベントに関する情報提供や相談窓口のワンストップ化を図るため、ライフイベントサポートセンターの設置を予定している。

委員	奨学金の返還に関する支援を考えているか。
市	高校や大学への就学者向けの奨学金返還助成について、県等の動向を踏まえ創設する予定。また、これとは別に医師を目指す学生への支援も検討していく。

委員	仕事を求めて地域を離れた方に対する情報提供を行う予定はあるか。
市	今年8月から、転出者に対する各種情報提供を行っており、その中でAターン就職に関するサイト情報も含んでいる。今後は市内関係団体と連携し、市内の企業情報や市内における起業の情報等、充実を図りたい。

第4回湯沢市地方創生推進会議 出席者名簿

NO.	氏名	所属等	備考
1	京野 健幸	湯沢商工会議所青年部専務理事	代理
2	兼子 正寛	ゆざわ小町商工会青年部長	
3	山脇 知之	こまち農業協同組合総務課主幹	
4	渡部 千晶	湯沢市観光物産協会	
5	渡辺 央	国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所調査第二課長	代理
6	茂木 伸宏	湯沢公共職業安定所長	
7	飯塚 久芳	秋田県雄勝地域振興局総務企画部地域企画課長	
8	石沢 真貴	秋田大学教育文化学部准教授	会長
9	戸田 譲	北都銀行湯沢支店長	
10	三浦 力	秋田銀行湯沢支店	
11	齊藤 斉	連合秋田横手湯沢地域協議会議長	
12	松江 大輔	湯沢青年会議所副理事長	代理
13	山内 今日子	NPO法人まちおこし結っこ理事長	